

2023年

9月23日〈土・祝〉

14時開演  
(13時30分開場)

京都芸術劇場 春秋座  
(京都芸術大学内)

無料・指定席(先着順) ※往復はがきにてお申込み下さい



京都芸術劇場

三代目市川猿之助(二代目猿翁)さんから京都芸術大学に寄贈いただいた貴重な歌舞伎関係資料をもとに、三代目猿之助の軌跡をたどるフォーラムの八回目。

主催・京都芸術大学 舞台芸術研究センター

「猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界」第八回フォーラム

企画 田口章子 京都芸術大学教授

# 三代目猿之助の 離見の見

ゲスト 石川耕士 脚本家・演出家

岡崎哲也

松竹株式会社取締役常務執行役員・日本演劇協会理事

# 三代目猿之助の〈離見の見〉—— 田口章子

私は普通の人を追わぬものを必死に追いかけてきたような気がする。それは何か、よく分からぬ。何か途方もない大きなものを追い求めて、私の心は絶えず天高く天翔けていた。天翔ける心、それが私だ。

スーパー歌舞伎『ヤマトタケル』のヤマトタケルのせりふである。劇中のヤマトタケルと猿之助自身がシンクロするこのせりふは、「天翔ける心」を『ヤマトタケル』のテーマとして明確化することに成功した。そして、「何か途方もない大きなもの」を追い求めて創造した猿之助のスーパー歌舞伎は演劇史に新たな一ページを刻んだ。

しかし、やみくもに「何か途方もない大きなもの」を追い求めてきたわけではない。

1977年に猿之助は史上最年少で責任ある立場、一枚看板の座頭として海外歌舞伎公演に臨み、1981年、1983年と立て続けにアメリカ、ヨーロッパを駆け巡った。

各都市における観客席からの反応は、30代の猿之助にとって大いなる刺激となったことはいうまでもない。

猿之助は海外の舞台に立つことで多くの収穫を得た。

- 1 テンポアップの必要性
- 2 ドラマ性のある作品の上演
- 3 上演時間の短縮

いずれも、こんにちの歌舞伎がかかえる課題であり、求められているものばかりである。50年も以前にすでに猿之助の視野にあったことが知られる。

歌舞伎になじみのない大衆にいかにおもしろくみてもらうか。そういう意識を持つ感覚を海外で学んだ。外から内をみる、猿之助の〈離見の見〉の開眼である。

第八回となる今回は、「三代目猿之助の〈離見の見〉」をテーマに、観客を意識しながら時代に応じて歌舞伎を革新し続けた「猿之助歌舞伎」の舞台世界をひも解いてみたい。



三代目市川猿之助  
(二代目市川猿翁)

1939年(昭和14)生まれ。つねに「時代とともに生きる歌舞伎」をめざし、伝統の継承と創造に全身全霊をかけて走り続けている。「猿翁十種」をはじめとする家の芸の継承はもとより、『義経千本桜』『加賀見山再岩藤』などの古典歌舞伎の再創造、『菊宴月白浪』『競伊勢物語』などの古劇の復活、さらには『ヤマトタケル』や『新・三国志』シリーズなどのスーパー歌舞伎の創造まで、パワフルな活動はみごとな芸術的完成を見せる。現代歌舞伎に多彩で豊富な成果をもたらしてきた演劇活動の中から「三代猿之助四十八撰」を制定した。歌舞伎にける熱い思いと革新的な発想は、三代目市川猿之助が育てた弟子たちにも確実に受け継がれている。平成24年新橋演舞場において、祖父が名乗った猿翁の名を二代目として襲名した。

京都芸術大学では、平成5年に芸術学部教授、平成12年~17年副学長に就任。集中講義では学生に歌舞伎の実技実演指導も行なった。同大の春秋座には徳山詳直前理事長とともに劇場の構想・設計から関わる。初代芸術監督として、柿落し公演の『日本振袖始』はじめ、数々の舞台を企画し出演した。

## お申込み方法

入場無料(全席指定) 先着順・定員600名

2023年7月10日(月)受付開始(定員に達し次第締め切ります)

下記をご参照いただき必要事項を全てご記入の上、**往復はがきにてお申し込みください。**

〈往信表面〉〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都芸術大学 舞台芸術研究センター  
「猿翁アーカイブ・フォーラム」係宛

〈往信裏面〉①代表者ご氏名

\*劇場友の会の方は会員番号もご記入ください

②ご住所(郵便番号含む)

③お電話番号(日中の連絡が可能なもの)

④ご同伴者有の場合:ご同伴者氏名(1名様まで)

\*車椅子をご利用のお客様、足の不自由なお客様はその旨お書きください。

〈返信表面〉代表者のご住所、ご氏名をご記入ください。

〈返信裏面〉白紙

[結果通知]

受付完了後、随時ご返信いたします。座席番号をご確認ください。**返信ハガキが入場証となり、入場時にご提示いただきますので、必ずご持参ください。**返信ハガキをお持ちでない場合、入場をお断りする事がございます。予めご了承ください。

映像担当:京都芸術大学広報課・倉田修次

協力:松竹株式会社、公益社団法人日本俳優協会、株式会社キノシ・オフィス

主催:京都芸術大学舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL.075-791-9437



●JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」駅から  
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗り、  
「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車  
(「京都」駅から約50分、「三条」・「京都河原町」駅から約30分)

●京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅  
(北大路駅バスターミナル)から京都市バス204系統循環  
「高野・銀閣寺」行きに乗り、  
「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(約15分)

●京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、  
「茶山・京都芸術大学」駅下車、徒歩約10分

●タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。  
地下鉄「今出川」駅から約15分  
(「京都」~「今出川」は地下鉄で約10分)。

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。  
天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場は  
ご遠慮ください。

京都芸術劇場 検索